



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2011 **7**



6月22日(水) 兵庫県民会館において第61回通常総会を開催しました。(関連記事P.4~7)

— 人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして —



人と人がつながり、 信頼が広がる 新しい社会の実現を

この度の東日本大震災で犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意をささげますとともに被災されたすべての方々に心からお見舞い申し上げます。

大震災発生直後から、緊急支援や復興支援にいち早く取り組まれている兵庫県内の各生協、組合員の皆様方に心から敬意を表します。

被災地の復興には今後も息の長い支援が求められています。被災者の生活再建と被災生協の事業再建に向けて、引き続き、全国の生協の仲間と一緒に取り組んでいきたいと思えます。

兵庫県生協連の皆様には、日ごろより日本生協連関西地連の

活動に、積極的なご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございます。ございます。

さて、私ごと、1月21日より、関西地連事務局長に着任いたしました山内寛でございます。それまでは、組織推進本部組合員活動部で業務を担っていました。が、その当時から兵庫県内の生協、組合員の皆様には本当にお世話になっております。この場をおかりして、お礼申し上げます。

日本生協連に就職して、支所、営業本部、物流管理部、中央地連、東北地連、組合員活動部と職場が変わってきましたが、常に心の支えとなってきたのが、会員生協、役職員、組合員との

CONTENTS

2. 想点
4. 兵庫県生協連 第61回通常総会報告
6. 2011年度活動計画
7. 臨時理事会報告／新執行体制
8. 2010年度第6回理事会報告／
「2011ピースアクションinヒロシマ」
参加生協の参加費補助について
9. ひまわり医療生協の兵庫県生協連加入について／
単協通信（コブこうべ）
10. 2011年度会員生協総代会報告
14. 協同組合のかけ橋
15. 兵庫県のページ
16. ピースアクション2011のご案内／
「労働安全衛生研修・学習会」のご案内／
県連日誌／編集後記



日本生協連関西地連 事務局長

山内 寛

(やまうち・ひろし)

つながり、人と人をつなぐ協同の力です。

今回の震災対応でも人と人のつながりの大きさ、そのことを本当に大切にしている協同の力、生協の役割を実感させられ、そのような職場に勤めていられることに感謝しています。

先般の日本生協連第61回総会で、「日本の生協の2020年ビジョン」が決定されました。今回のビジョン作成にあたっては、本当に多くの役職員、組合員さんがかかわって作成されました。「人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざします」とのビジョンを実現していく最初の年度がスタートしています。今回の震災を通して、人と人とのつながりの大切さ、行政だけでなくNPOなど地域で活動する諸団体との協同の大切さ

が、改めて注目されています。

その中でも生協が地域でどのような役割を発揮できるのかが問われているのではないのでしょうか。昨年まで「社会的責任に関する円卓会議」に、政府、経済界、金融、労働組合、NPO団体等に混じって消費者団体の一員として参加させていただきました。そのときに痛感させられたことは、生協の活動、地域で展開している様々な取り組みが殆ど知られていないということでした。生協の事業と活動が、地域社会の中でしっかりと認められ、本当に生協が私の街にあつて良かったといわれるように一緒に奮闘していきたいと思っています。

2012年は、「協同組合がよりよい社会を築きます」とのスローガンのもとに「国際協同組合同年」を迎えます。協同組合、

生協への期待が社会的にも一層注目される年となります。社会的な期待に応えられるよう力を合わせていきたいと考えています。

今年も、これまでの経済状況の悪化に加え、大震災・原発事故による影響が考えられるなど、一層厳しい状況が予想されますが、組合員・消費者の願いを実現するため、兵庫県生協連及び会員生協の皆様といっしょに力をあわせていきたいと思っています。これからも叱咤激励を宜しくお願いいたします。



基本
テーマ

コミュニティー・ネットワークの構築
～協同が息づく兵庫のまちづくり～



6月22日(水)兵庫県民会館において兵庫県生協連第61回通常総会を開催しました。代議員総数37名中、37名が出席(実出席27名、委任出席1名、書面議決9名)し、2010年度活動報告、2011年度活動計画(案)など6つの議案について審議し、全議案が満場一致で可決されました。

当日は、兵庫県生協連 板崎聡理事(神戸医療生協専務理事)の司会ではじまり、冒頭、東日本大震災の犠牲者の方へ黙祷をささげたあと、浅田克己会長理事が、「最初に3月11日の東日本大震災で被災された方々に、改めてお見舞いを申し上げたい、そして、現地の協同組合のみなさんが、ご自身が大きな被災に合われる中でも協力し合い罹災された人々の暮らしを支え、ライフラインを守るといふ活動をされていることに、心から敬意を表したいと思います。同時に兵庫県内の協同組合のみなさま方には、16年を経た

阪神淡路大震災の経験をもとに、活動や支援に大きな力を発揮いただきました。改めて感謝を申し上げますとともに、今後も協同組合として共助の力で息の長い支援活動を続けていただきま

すよう改めてお願いいたします。さて、昨年を振り返りますと、大変厳しく課題も山積し、経済環境は閉塞感を感じさせるような中で兵協連に結集いただいているみなさま方には、それぞれの課題を抱えながらも協同組合の活動・事業をすすめ、健全な事業経営をはかり、計画に沿った事業執行をしていただいた年となりました。さらに、兵庫県生協連は60周年の節目の年を迎えた年でもありました。

そして、来年2012年を国連が、国際協同組合年と定め、さらに、世界の協同組合の連合組織である国際協同組合同盟(ICA)は、同じく2012年に、ICAアジア太平洋地域総会(ICA-AP)を日本で初め

て開催することを決め、開催地が兵庫県神戸市と決まりました。これらに向けての準備は、2011年からすでに始められています。このようなことから、2012年は、世界のみなさま方に協同組合がめざしている共助、助けあい、分かち合いの価値を見直していただく意義の大きい年になるうかと思

います。今後、協同組合が社会に果たしていく役割は大きく、今まで以上に広がっていきます。さらに、この地域の中で活動されているコミュニティーやNPOのみなさまとも協働しながら、より良い暮らしを作り上げていくという理想に向かって一步一步進んで行かなければなりません、本日の総会では新たな課題に向けて取り組む出発点となるような議論を進めていただきたいと思

います。と挨拶し、続いて、来賓を代表して兵庫県健康福祉部生活消費局長・横山佐和子様、神戸市市民参画推進局市民生活部長・安廣哲幸様、兵庫県農業協同組合中央会常務理事・下岡隆様、日本生協連関西地連事務局長・山内寛様からそれぞれ大会の盛会と今後の発展を祈念したご祝辞をいただきました。



兵庫県健康福祉部
生活消費局 横山佐和子局長



神戸市市民参画推進局
市民生活部 安廣哲幸部長



兵庫県農業協同組合中央会
下岡 隆常務理事



日本生協連関西地連
山内 寛事務局長

2010年度活動報告ならびに決算報告及び剰余金処分案承認の件、第2号議案2011年度活動計画案ならびに収支予算案の件について大西憲慈専務理事から提案・説明が行なわれました。(2011年度活動計画の重点課題は次のページに掲載しています。)続いて、本上博一特定監事より監査報告がありました。

その後、地域、医療、大学、共生協それぞれの分野から会員生協の2010年度活動報告が行われました。

最初に、コープこうべ 大谷敦子代議員から「東日本大震災におけるコープこうべのボランティア支援の活動について」と題してご報告がありました。のべ241名の職員を派遣した宮城生協への支援について、また、5月末時点で3億5,387万4,677円に達した義援金の募金について、あわせてコープこうべ災害緊急支援基金からの1千万円の拠出について、さらに、コープこうべ、神戸市社会福祉協議会、神戸YMCAの三者が協働して、計4回実施した「ボランティアバス」の派遣について報告をいただき、最後に「コープこうべは、被災地への支援を今年度事業計画の重点課題のひとつに位置づけ、これらからも支えあい、助け合う組織である生協として共助の価値を発揮し、息長く被災者に寄り添い、

復興への道のりを共に歩み続けたいと考えております。」と力強く締めくくられました。

次に、尼崎医療生協・井上博喜代議員から「東日本大震災の救援活動」と題して、2010年の振り返りとともに、東日本大震災支援について、当初の現地の医療生協を通じた医療活動中心の支援の様子や現在、尼崎医療生協が直接、現地にコーディネーターを常駐させボランティアを受け入れている取り組みと、6月11日に総勢300人のボランティアを宮城県南部に派遣した「近畿総行動デー」の取り組みについて、ご報告をいただきました。最後に「現地が、まだまだ、ボランティアを必要としている状況の中では、私たちの支援活動は引き続き必要と考えています。そして、このような活動の中で、尼崎医療生協と今までつながっていなかった、色々な活動をされている方々と新しいつながりが生まれ、支えあい活動の取り組みの共有化が進んでいます。まさに、尼崎医療生協が、2011年度の方針としている『人とつながり、支え合う。』活動が地域の中で大きく広がり始め、その広がりが本場に地域の健康や幸せを創っていくのではないかと考えています。」と述べられました。



コープこうべ
大谷敦子代議員



尼崎医療生協
井上博喜代議員

続いて、甲南女子大学生協 田恵美代議員から「良い未来につなげるために」と題して、近年の大学生協の取り組みと甲南女子大学生協

が現在すすめている「今の組合員に必要なモノ・コトを提供できる生協としての活動・事業」について、甲南女子大学生協が就職課と協力して開催を企画している「ワークバランス講座」や大学の学生証と生協組合証の統合の取り組みについて、大学生協神戸事業連合が、阪神事業連合として組織統合となることで、事業連合と会員生協の協力関係がより一層強化されることなどを発表いただきました。最後に「大学生協が、組合員に対して受け身ではなく、より多くの機会を提案できる組織となるために組織統合や兵庫県の協力関係を構築し、多くの課題を協同の力で乗り越えていきたいと思います。そして、大学生協として組合員の学びと成長を支援し、大学生を中心とした組合員に必要なモノ・コトを提供提案していただける組織であると言うことを再認識し、今後の組合員の未来と生協の未来を一緒に明るい方向につなげていけるよう、一丸となって事業を進めていきたいと思います。」と報告がありました。



甲南女子大学生協
塩田恵美代議員

最後に、姫路市民共済生協・藤田雄三代議員からは、「創立55周年『ゴーゴー作戦』」と題して、「共済の理念である相互扶助・助けあいの精神は、安心した生活の確保の為に、今この時こそ、まさに必要なこと」と強く感じながら、積極的に展開されている事業推進の取り組みについてご報告をいただきました。まず、多くの方に共済理念を知っていただく為の広報の積極的な展開につ



姫路市民共済生協
藤田雄三代議員

いて、続いて、交通災害共済の増強、コープ共済連の終身生命共済・終身医療共済の受託と促進、火災共済の再取得額特約の附帯に向けての契約を進め、さらには契約が途絶えている睡眠組合員へ再度事業利用の呼びかけ等の事業面の強化についてのお話をいただき、最後に「今後も引き続き、顔が見えるコミュニケーションを大事にした勧誘の実施や迅速で丁寧な説明、親切な対応を目標としたサービスの向上などにより、さらに地域に密着した信頼される共済生協をめざします」と力強い決意をご報告いただきました。

その後、第1号議案、第2号議案の審議を行い、続いて第3号議案から第6号議案についても提案と審議が行われ、全ての議案が満場一致で可決・承認されました。

役員選任と臨時理事会の結果、新しく会長理事に本田英一(コープこうべ・組合長理事)、理事に新保雅子(コープこうべ・理事)、伴智代(コープこうべ・理事)、大沼和世(生活クラブ都市生活・副理事長)、小野田敏行(神戸市民生協・専務理事)、酒井行雄(兵庫労働共済生協・理事長)、井上信行(兵庫県学校生協・常勤理事)、藤田雄三(姫路市民共済生協・理事長)〔敬称略〕の各氏が就任されました。

2011年度 活動計画

基本テーマ コミュニティ・ネットワークの構築

～協同が息づく兵庫のまちづくり～

重点課題

課題1 会員の組織・経営基盤の強化に貢献します。

課題2 会員生協間の事業・活動の連携と交流を促進します。

課題3 協同組合間協同の前進をはかります。

課題4 行政ならびに関係諸団体との連携・交流を深めます。

課題5 暮らし、平和、福祉、環境など社会的諸課題に取り組みます。

課題1 会員の組織・経営基盤の強化に貢献します。

1. 会員生協の健全な生協運営に資するため、主要業績数値の進捗状況を集約し、情報の共有をはかります。

(1) 兵協連理事会において会員生協の経営実態を交流し、経営の安定に向けて共有をはかります。

(2) 医療・共済・大学の各部会において、事業・経営状況の分析・交流を実施し、安定した業績の残せる経営の強化を旨とします。また、医療生協部会組織担当者会議、大学生協との連絡会を定期開催します。

(3) 生協対策資金貸付が維持・継続できるように、行政への要請を続けて行っていきます。

2. 理事・監事が法に沿った役割発揮に役立てていただくための理事・監事研修を開催します。

3. 会員生協の役員を対象に活動や事業運営に役立つ研修会・講習会を実施します。また、会員生協の研修活動の支援をおこないます。

(1) 「初級経理学校」を開催し、経理担当職員の基礎実務の習得をはかります。

(2) 「税務・経理講習会」を開催し、経理・財務担当者の力量向上をめざします。

(3) 内部統制（法の遵守や総合的なマネジメント等）に関する研修会を継続開催していきます。

(4) 各分野別の研修や交流会を企画・検討していきます。

4. 各研究会活動（保健・医療・福祉研究会、生活問題研究会）を充実・推進します。

5. 「監事・監査チェックリスト」の補強・修正を検討し、有効活用をさらにすすめます。

6. 県域を越えた合併・連携、コープ共済連、大学生協の阪神間の統合、医療福祉生協連合会の事業開始等の変化に対応し、引き続き兵協連会員の連携を図られるような対応を行っていきます。

課題2 会員生協間の事業・活動の連携と交流を促進します。

1. 2011年度兵庫県生協大会を全ての会員の参画で開催します。

2. 機関誌「兵協連だより」やホームページを充実させて、会員生協間の連携と交流の促進をはかるとともに、行政・関係諸団体への発信力を強めます。また、「通信員・広報担当者研修交流会」を実施します。

3. 「生協活動委員会」を中心に、会員生協の参画による各種取り組みを進めます。

4. 各部会などによる相互交流を通じ、県内会員生協の事業連帯の活動をさらに促進します。

5. 会員生協の役員の交流・懇談会（新春トップセミナーなど）を継続開催します。

6. 役員体育大会を実施し、生協間の役員交流を深めます。

課題3 協同組合間協同の前進をはかります。

1. 兵庫JCC（兵庫県協同組合連絡協議会）の充実を図るとともに、「兵庫JCC委員会」や「協同組合研究・交流会」を通じ、相互理解と連携強化をはかります。

2. 国際協同組合デー・兵庫県記念大会を農協、漁協、森林組合と一緒に開催し、より一層の連帯活動の充実と、幅広い組合員の参加促進に取り組みます。

3. 機関誌「ひょうごJCC」を定期発行し、生協、農協、漁協、森林組合運動相互の情報交流と、兵協連内部はもとより、行政・関係諸団体への広報を強化します。

4. 環境保護・食の安全・食育など、地域や暮らしに貢献する取り組みについて協議し、協同組合間で連携してすすめます。

5. 協同組合連携と世界を視野に置いた学習と情報交流や準備対応等を行います。（2011年国際森林年、2012年国際協同組合年、ICA・AP神戸等）

課題4 行政ならびに関係諸団体との連携・交流を深めます。

1. 「近畿地区生協・行政合同会議」を通じ、厚生労働省、県行政等との関係を深めます。

2. 兵庫県行政と兵協連理事会との懇談会を開催するとともに、兵庫県知事との懇談の場づくりを努めます。

3. 兵庫県、神戸市の関係部署とのコミュニケーションを密にし、日常の関係づくりを一層強めます。

4. 行政や議会からの情報やその状況についてコミュニケーション向上に努めます。

5. 県下の各消費者団体とのネットワーク

づくりにつとめ、NPO「消費者支援機構関西」(K.C.S.) およびNPO「ひょうご消費者ネット」と連携して、消費者が安心して暮らせる社会づくりに向け取り組めます。

6. 県内消費者行政強化の支援と会員生協への情報提供を行います。

7. 農林水産省・近畿農政局との懇談会を通して、生協や消費者の声が行政に活かされるよう取り組みます。

8. 近畿地区府県生協連、日本生協連関西地連との協同・連帯・交流を強めます。

課題5 暮らし、平和、福祉、環境など社会的諸課題に取り組みます。

1. ピースアクションやユニセフを含めた多彩な平和の諸課題に取り組みます。

2. 食の安全・安心、消費者被害などくらしと健康を守る諸課題に取り組みます。

3. 地球温暖化防止・CO2削減などの幅広い環境問題や、また福祉活動などの社会的な課題についての考え方を整理しつつ、生活者・消費者の視点からの取り組みを検討します。

4. 「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定」および「実施細目」にもとづき、会員生協と連携して緊急時の救援、支援活動ができる体制づくりをすすめます。また兵庫県等がおこなう防災・減災や地域の安全・安心、まちづくりに積極的に参加します。

5. 東日本大震災で被災された地域並びに生協の復旧、復興のために、16年前の阪神・淡路大震災の被災体験を生かし、また、その際に、全国からいただいた多くのご支援への感謝の気持ちを思い起こし、会員生協と連携して出来る限りの支援・協力を行っていきます。

6. 「賀川豊彦献身100年記念事業」での教訓を踏まえて、生協・協同組合の理念の浸透や原点を見つめ直す学習・交流等を行い、これからの生協・協同組合活動の前進に寄与することを目指します。

臨時理事会報告

- I. 開催日時 2011年6月22日(水) 午後3時40分～3時50分
 II. 開催会場 兵庫県民会館11階「1103」
 III. 出席者 寺尾、大西、板崎、高橋、福島、本田、新保、伴、大沼、井上、酒井、小野田(以上、理事)
 藤田、金丸、秦(以上、監事)



●会長理事、副会長理事、専務理事互選の件

3役の互選については、理事全員の賛成で下記の3人が選任された。

会長理事/本田 英一
 副会長理事/寺尾 善喜
 専務理事/大西 憲慈

●代表理事の選定の件

代表理事の選定については、理事全員の賛成で下記の3人が就任した。

会長理事/本田 英一
 副会長理事/寺尾 善喜
 専務理事/大西 憲慈

●生協貸付資金審査会 委員委嘱の件

生協対策資金貸付審査会規約第3条に基づき、2011年度の審査会員として以下の7人が委嘱された。

本田 英一(県生協連・会長理事)
 寺尾 善喜(県生協連・副会長理事)
 大西 憲慈(県生協連・専務理事)
 板崎 聡(会員～神戸医療生協・専務理事)
 大沼 和世(会員～生活クラブ都市生活・副理事長)
 小野田 敏行(会員～神戸市民生協・専務理事)
 大槻 信夫(学識経験～近畿労働金庫兵庫地区統括本部・本部長)

兵庫県生協連・2011年度 新執行体制

○新任

役職	氏名	単協・役職名	役職	氏名	単協・役職名
会長理事	○本田 英一	コープこうべ・組合長理事	理 事	○伴 智代	コープこうべ・理事
副会長理事	寺尾 善喜	大学生協神戸事業連合・専務理事		○大沼 和世	生活クラブ都市生活・副理事長
専務理事	大西 憲慈	コープこうべ・特別参与		○井上 信行	兵庫県学校生協・常勤理事
理 事	板崎 聡	神戸医療生協・専務理事		○酒井 行雄	兵庫県労働共済生協・専務理事
	高橋 秀行	関西学院大学生生協・専務理事		○小野田敏行	神戸市民生協・専務理事
	福島 哲	尼崎医療生協・専務理事		金丸 正樹	ろっこう医療生協・専務理事
	大槻 信夫	近畿労働金庫兵庫地区統括本部・本部長	秦 正雄	コープこうべ・常務理事	
	○新保 雅子	コープこうべ・理事	監 事	○藤田 雄三	姫路市民共済生協・理事長

～ 退任の理事 ～

浅田 克己(コープこうべ) 木村世志雄(兵庫県労働共済生協)
 古河 憲子(コープこうべ) 加賀 晴彦(兵庫県学校生協)
 山岸ひろ子(コープこうべ) 竹中 幸雄(神戸市民生協)
 山田多美子(生活クラブ都市生活) 本上 博一(姫路市民共済生協)



2010年度 兵庫県生協連 第6回理事会報告

- I. 開催日時 2011年6月6日(月) 午後2時～3時42分
II. 開催会場 兵庫県民会館12階「1201」
III. 出席者 浅田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、
板崎、山田、山岸、木村、高橋、竹中 (以上、理事)
本上、金丸、秦 (以上、監事)、加賀理事 (15:10退席)



<報告事項>

- (1) 「会員生協の概況報告」について、各出席理事・監事より報告
- (2) 前回理事会から6月初旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- (3) 2011年度兵庫JCC幹事会の開催報告
- (4) 兵協連第61回通常総会の運営について
- (5) ピースアクション2011被爆ピアノコンサートについて
- (6) ひまわり医療生協の兵協連加入について
- (7) 神戸市立工業高等専門学校生協の兵協連加入申し込みについて
- (8) 生協総研会費誤請求の件と対応について
- (9) 2011年度関西地連、各委員登録について

<協議事項1> 兵協連第61回通常総会招集にあたっての理事会決定事項について

<協議事項2> 兵協連第61回通常総会議案

- ①第1号議案/2010年度活動報告および決算報告ならびに監査報告について
- ②第2号議案/2011年度活動計画および収支予算(案)について
- ③第3号議案/定款・規約の改定の件
- ④第4号議案/役員報酬決定の件
- ⑤第5号議案/役員補充選任の件
- ⑥第6号議案/議案決議効力発生の件

<協議事項3> 兵協連2011年度会費額決定について

<協議事項4> 2011年度生協功労者表彰の候補者推薦について

- ①県知事感謝 ②兵協連会長表彰

<協議事項5> 「2011ピースアクションinヒロシマ」参加生協への参加費補助について

<協議事項6> 2011年度兵協連研修計画(案)について

以上、6つの協議事項が全員の賛成で承認されました。

『2011ピースアクションinヒロシマ』 参加生協への参加費補助について



☑ 『ピースアクションinヒロシマ』

- (1) 全体日程 8月4日(木)～6日(土)
(2) 虹のひろば 日 時/8月5日(金) 13:10-16:00
会場/広島県立体育館グリーンアリーナ
内容(予定)/第1部 虹のステージ (13:10-14:45)
第2部 みんなのひろば (14:45-15:40)
フィナーレ (15:45-16:00)

8月4日(木)～6日(土)に開催される日本生協連主催の『ピースアクションinヒロシマ』への兵庫県下の生協組合員、役職員の参加に対して兵庫県生協連として下記の通り参加費を補助します。

『ピースアクションinヒロシマ』参加生協に対して
1生協5人を限度に、1人あたり15,000円を補助します

※総人数20人、総額30万円を限度とします ※20人を越えた場合、30万円を人数割りとします ※8月末までの補助申請とします

ひまわり医療生活協同組合の兵庫県生協連加入について

このたび、尼崎市を中心に活動されている「ひまわり医療生活協同組合」が、兵庫県生協連に新しく加入されましたので、ご案内いたします。

ひまわり医療生活協同組合

【組織・事業概要】

1995年に西立花（尼崎市）に開設された田島診療所が母体となり、2000年に設立されました。「地域で生活と暮らし、健康をみんなで支えあう医療生協」をめざして、活動をつづけています。

- 設立……2000年4月3日
- 出資金……5,217万7,500円（2011年3月末現在）
- 事業収益計……1億5,757万円（2010年度実績）
- 組合員数……892人（2011年3月末現在）
- 活動エリア……尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市、西宮市、芦屋市、神戸市、明石市
- 所在地……〒660-0054 尼崎市西立花町2-14-8
TEL：06-6411-0600 FAX：06-6411-0160



単協通信

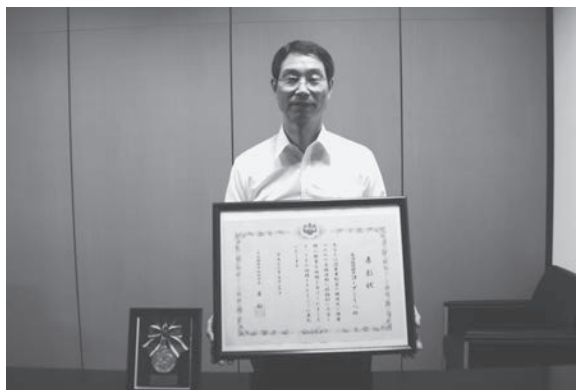


5月30日（月）、コープこうべが今年度の「消費者支援功労者表彰」内閣府特命担当大臣表彰を受けました。

これは、消費者利益を守り、高めるために各方面で尽力した個人に贈られる賞として1985年に創設され、今年度からは消費者団体・グループも表彰の対象となりました。コープこうべが長年にわたり、食品添加物や品質表示などについて自主基準を設けて運用

生活協同組合コープこうべ

消費者支援の取り組みが評価され 内閣府特命担当大臣表彰を受賞



してきたこと、緊急時の生活物資確保と供給に尽力してきたこと、行政の行う消費者教育の推進に協力してきたことなどから、神戸市から推薦していただき、今回の受賞となりました。

表彰式は首相官邸で行われ、秦正雄常務理事が出席。蓮舫内閣府特命担当大臣（現首相補佐官）から表彰状と盾を受け取りました。

（通信員 榊原晶子）

2011年度 会員生協

総代会報告

■コープこうべ

6月14日(火)、コープこうべの最高議決機関である第91期通常総代会が神戸ポートピアホテルで行われ、総代1100人中1080人が出席(書面議決、委任状含む)して、2010年度事業報告や決算報告、2011年度事業計画など8議案すべてが可決・承認されました。

「新中期計画」2年目となる2011年度は、あらためて生協の原点に立ち返り、生協らしい事業のあり方の追求を通して、健全な収益体質をつくり上げる事業構造改革に引き続き取り組んでいくことを確認。その後大阪北生協との合併に関する「新生コープこうべ誕生にあたっての特別決議」が採択されました。大阪北生協と合併し、165万人組合員となった新生コープこうべは、大きな協同の力と、創立90周年の伝統の力を合わせて、よりよい社会づくりの実現に向けた活動と事業をすすめることを誓いました。

理事選任議案の承認を受け、総代会終了後に開かれた第1回理事会で、本田英一専務理事を組合長理事とする新しい役員執行体制が決定しました。

また、5月末までに組合員から寄せられた東日本大震災募金



の贈呈式が行われ、中央募金会へ3億5387万4677円を寄贈しました。(通信員 榊原昌子)

■生活クラブ生活協同組合都市生活

5月31日(火) 兵庫県私学会館にて、第25回通常総代会が開催されました。総代定数120名のうち116名が出席し(実出席84名、委任状22名、書面議決10名、欠席4名)、東日本大震災の犠牲者の方へ黙祷をささげた後、2010年度活動報告、2011年度方針(案)など8つの議案を審議し全議案が可決されました。(理事長 長揆)

今年度生活クラブ都市生活は設立25年を迎えます。私たちは16年前の阪神淡路大震災で、全国の生協から大きな支援を受け、立ち直ることができました。今度は私たちがお返しをする番です。この大震災には今後とも長い支援が必要です。「利用する組合員」になって、生協の発展とこの大震災の支援継続につなげましょう。

(感想)

学習会に参加する機会があれば、気になる事をその都度尋ねることができますが、都合のつきにくい人には生活クラブ都市生活のことが伝わりにくいので、伝えあうための場として今年度方針の「14000人のほっとコミュニケーション」が大切だとわかりました。義捐金についての質問があ



りました。被災者へ現金を送るだけが支援ではなく、先へ進むためのサポートが大切だと改めて感じました。(通信員 紺本直)

■兵庫県学校生活協同組合

6月28日(火) 神戸市中央区のラッセホールにおいて、第84回通常総代会が総代数128名中116名の出席により開催されました。

2010年度事業報告並びに決算報告、剰余金処分案、監査報告、定款の一部改定、役員辞任及び後任役員選任などの議案について、すべて満場一致で可決承認されました。

また、学校生協型の連帯を目指した「ガッコウ事業連合」の活動や各供給形態での取組結果、損益の概況等について報告しました。続いて、現在、取り組んでいる「夏のギフト」についての状況報告を行いました。そのほか、東日本大震災で被災した学校生協への支援として、「ガッコウ事業連合」の「復興支援企画」について提案するとともに、利用結果を呼びかけました。

(通信員 池田周二)



■甲南大学生生活協同組合

5月27日(金) 16時30分より、甲南大学学友会館3階バンケットルームにおいて、2011年度(第43回)通常総代会を開催しました。

当日は総代総数110名中、89名の出席(本人出席25名。書面議決64名)がありました。すべての議案が多数の賛成により可決承認されました。

総代会の運営・進行は主に学生理事・監事等学生が務めました。

議案の提案も専務理事からのみでなく、学生理事からも各議案の提案をし、大学生協らしい総代会を行えました。

総代会終了後の第1回理事会においては、昨年引き続き理事長に安西敏三が、専務理事に初田代表理事が就任しました。

第1回理事会終了後は、大学5号館にある生協カフェパンセにてレセプションを開催しました。理事・監事、総代を運営してくれた学生と生協職員で、全員一言自己紹介をし、充実した懇親会となりました。

2011年度は、甲南大学生協をもっと知ってもらい、「組合員の皆さんの生活の向上」を目的として大学との協力関係を強め、「知る、学ぶ、活動する」ことを応援、協力していきます。(理事会室 中谷満子)



■兵庫県立大学生生活協同組合

5月21日(土) 午後1時30分から、姫路書写キャンパス書写記念会館ホールにおいて、2011年度(第21回)通常総代会を開催しました。

総代会の準備と運営・進行はすべて学生理事、学生委員によって行われました。各キャンパスから選出された学生・教職員総代156名のうち、実出席47名、書面出席86名、合計133名の出席のもと建設的で活発な議論が展開されました。今回は通常議案意外に、定款の一部改正議案も含め、すべての議案が多数の賛成により可決承認されました。また、所属する神戸事業連合と大阪事業連合が合併して阪神事業連合となることに伴い、継続して加入することも確認されました。通常総代会に先立ち、神戸学園都市キャンパスと明石キャンパスでは「総代会議」がそれぞれ開催され、所属総代から意見が出されました。これらの意見・要望も含め、議決された方針を実現すべく新役員代表から決意表明があり閉会しました。閉会后第1回理事会が開催され、代表理事・理事長に池田潔、専務理事に東原洋二が選出されました。(通信員 東原洋二)



■園田学園女子大学生生活協同組合

第16回通常総代会を5月26日(木)に大学大会議室にて開催しました。当日は総代113名のうち、本人出席51名、書面出席も51名、合計102名の出席を頂きました。

今回の議案の目玉は「園田学園女子大学生協ビジョンとアクションプラン策定」です。2009年の総代会で策定することを「確認いただき、足かけ二年でようやく策定までこぎ着けました。ミッション案を作るところから理事会で丁寧に議論を進めました。また、ビジョンとアクションプラン案は、学生組合員の有志で組織する学生委員会が原案を作成し、教職員理事も参加する理事会で何度もやりとりを重ねて作ったものです。



学生らしく、わかりやすい言葉で、しかもその言葉にたくさんの思いを込めて作りました。

総代会当日の議案提案も学生理事である学生委員長が行い、「学生中心の大学生協のビジョンとアクション

プランを、学生が中心で考え、学生が提案し、学生が中心に賛成していただいた」という、まさに大学生協らしい取り組みになりました。

また、大学へのご報告の折、学園理事長や学長からも高い評価を頂きました。

今後、このビジョンとアクションプランを生協運営を進めるに当たってのよりどころとし、一層組合員に愛される園田の生協を目指します。(通信員 藤井貴浩)

■甲南女子大学生生活協同組合

第15回通常総代会を5月25日(水)16時30分より第四学生会館2階生協食堂【Clover Cafe】において開催しました。当日は、全総代数120名中書面出席48名、実出席46名の方々の出席がありました。今年も学部生だけではなく、院生や職員の方の総代への立候補もあり、実出席も昨年を上回り活発な総代会を行う事ができました。

今年の総代会は、学生総代も楽しく参加できるよう、まずは学生委員会の活動報告をパワーポイントを使って行いました。視覚的に報告できたことで、興味、関心を持ってもらえたのではないかと思います。総代会後に出してもらった「質問・要求カード」にも、「学生委員会の活動をもっと知りたい」「楽しそうな活動をしていることを知れてよかったです」という声がありました。今後も



学生委員会を中心に、多くの学生と協力して活動することで、大学生活の中心は組合員にあるのだということを伝えてい

きたいと思います。

2010年度は、「もつと求められる生協に」「求められることに応えられる生協に」という思いで活動してきました。2011年度からいよいよ学生証と生協のIC組合員証が統合され、IC学生証になりました。その他にも、メールマガジンの取り組みを始めた、食堂のサインを見直したりと、組合員との距離を縮め、協力関係を築く活動をしています。

総代会及び第1回理事会終了後は、総代、教職員理事、生協職員の交流会を行いました。この交流会では、学生自治会、大学祭実行委員会や生協学生委員会、その他元気に活動している学生団体からの挨拶などもあり、賑やかな場となりました。普段なかなか一同に会することが難しいメンバーが楽しく交流することができ、とても有意義な時間となりました。

これからも、日常的に学生組合員や教職員の皆さまとのコミュニケーションを大切に、魅力ある甲南女子大学づくりに生協の立場から貢献していきます。(通信員 塩田恵美)

ろっこう医療生活協同組合

第27回総代会は、6月25日(土)、午後1時よりシマブンビルホールにおいて、総代数204名中、174名が出席(うち、書面議決書32名、委任状9名)、役員・職員・傍聴合わせて、239名が参加する中、開催されました。

昨年は、創立30周年ということ、記念レセプション、芸術&スポーツフェスタなどを取りくみ、また新しい事業で小規模多機能事業所を開設しました。こうした取り組みを記録した、30周年記念DVDを、総代会開会前に放映し、総代会参加者一同、これまでの30年を振り返りました。

より地域に密着した組合員活動を展開するため、今年から、三つの診療圏運営委員会を、五つのブロック委員会に改組しました。今年の分科会も、五つのブロックと組織運営等を議論する分科会合わせて六つの分科会に分かれて、意見交換、質疑応



答が活発に行われました。組合員2万人達成に向けての方法や取り組み、東灘区に初めて組合員集会所の設置、東日本大震災支援、診療所開設10周年の取り組みなど、各地域の活動に沿った議論が展開されました。

金丸専務の討論集約の後、議案採択、その後、役員改選が行われ、理事27名、監事4名が選出されました。永年勤続表彰、東日本大震災支援活動と福島原発事故早期収束を求める特別アピールを採択し、大崎理事の挨拶で終了しました。

(通信員 古市賢二)

姫路医療生活協同組合

安心して徘徊できるまちづくり、6月17日(金)午後、あいめつせホールにおいて2011年度通常総代会が開催されました。「地域包括ケア」ネットワークづくりをメイン課題にして3回目の総代会となる今年度は、「安心して徘徊できるまちづくり」をテーマにしました。会場には、総代・理事・オブザーバー220名を超す参加者で方針を討議しました。

2010年度のまとめでは、認知症サポーター養成講座が1,000人を超えたこと、他の医療機関、介護事業所とも介護と医療連携が進んだことがあげられ、より地域に根ざした活動の前進が報告されました。事業活動では、6月にオープンした



福祉介護センターさろお、3月にオープンした小規模多機能ホーム城北も順調に利用者が増え、2010年度決算では、約8,500万円(2・9%)の剰余を生み出すことが出来ました。2011年度事業計画では、新たに福祉介護センターながら、福祉介護センターおおつの建設をあげています。

討議の時間では、各ブロック、事業所から推薦された9人の方が発言されました。今年結成された2つの支部の支部長も今後の抱負を語られました。事業活動・支部活動とも「地域包括ケア」ネットワークづくりに確かな一歩を踏み出していることが確認できました。

(通信員 岡田佐織)

神戸市民生活協同組合

平成23年度通常総代会が、6月17日(金)午後2時より、神戸海洋博物館内において総代150名(書面、委任状出席を含む)及び兵庫県をはじめ、多くのご来賓の方々にご出席いただき開催されました。

開会にあたり、東日本大震災の犠牲者に対して黙祷を行った後、矢田理事長が「組合員のニーズを的確にとらえ、地域に根ざした市民共済として、今後も役職員一丸となってサービスの向上に努める。」と挨拶を行い、続いてご来賓の紹介、関係諸団体の祝辞等の披露および総代の永年勤続表彰が行われました。

- ・その後各議案の審議に入り、
- ・平成22年度決算書類等の承認
- ・平成23年度事業計画及び予算目

論見
 ・火災共済掛金の引き下げや高齢者の病氣入院に対する保障額の引き上げ等を実施するための共済事業規約の一部変更など
 全11議案が異議なく可決・承認されました。

また今回は、辞任に伴う一部理事の選任及び任期満了に伴う監事の選任が行われ、理事2名及び監事3名が選任されました。

(総務課 龍揖幸雄)



■尼崎市民共済生活協同組合

第56回通常総代会は、平成23年6月3日(金)、尼崎市総合文化センター「玉翔の間」において、総代130名中117名(書面出席を含む)並びに大勢のご来賓の方々の出席をもって開催されました。

開会に先立ち、3月11日に発生しました東日本大震災により犠牲となられました方々に哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

開会後、稲村理事長は震災に遭われた方々へお見舞いを申し上げ、「今回の被災地を視察して、住民同士の助け合いやそれを支える地域の繋がりの大切



さを強く感じました。私たちが中心となり地域の安心安全を守り、地域の繋がりを育んでいく共済制度の取り組みを推進していきたいので、今後とも是非協力をお願いしたい。」と挨拶を行い、引き続き平成22年度決算関係書類等の承認をはじめとして、全8議案が審議されました。議案のうち、平成23年度の事業計画では、今年度から借家人賠償責任

保険、更に終身共済の取扱いを加え、組合員のニーズに対応していくこと。組合員との信頼関係を深めていくために、商品内容の説明の徹底、組合運営情報の積極的開示に努めること。また、適正な組合員管理のため、睡眠組合員に共済事業の利用促進を図るとともに今後の事業利用の意思確認のため所在確認調査を実施することを説明し、8議案すべてが可決承認されました。

(通信員 中村由起子)

■姫路市民共済生活協同組合

第55回通常総代会は6月28日(火)13時30分より、姫路市自治福祉会館7階大会議室において、総代113人(書面、委任状出席を含む)と多くのご来賓の方々に出席いただき開催されました。

開会に先立ち、3月11日の東日本大震災で被災された方々に対し黙祷が行われました。また、藤田理事長が、東日本大震災及び昨今の不況による全国の経済情勢の影響により、共済募集体制の見直しなど非常に厳しい経営体制になりますが、本年度は創立55周年という節目にあたりますので、さらに組合員の視点に立ち健全な事業運営に努力しますとの挨拶がありました。

その後、ご来賓の紹介、祝電披露に続いて議事に移り、平成22年度の事業報告、平成23年度事業計画の後、組合員数の増加に伴う総代定数



の増加及び終身共済事業の受託共済事業の実施に伴う定款の改正等が審議され、全10議案が異議なく可決・承認されました。また、今回は任期満了に伴う理事及び監事の選任が行われ、新任の4名を含む理事20名及び新任の1名を含む監事3名が選任され総代会は終了しました。

(通信員 山本悠人)

単協人事

生協名	役職名	氏名
生活協同組合コープこうべ	組合長 理事	本田 英一
兵庫県学校生活協同組合	常勤 理事	井上 信行
関西学院大学生生活協同組合	理 事 長	富田 宏治
兵庫県立大学生生活協同組合	理 事 長	池田 潔
園田学園女子大学生生活協同組合	理 事 長	垣東 弘一
甲南女子大学生生活協同組合	専務 理事	塩田 恵美
神戸市民生活協同組合	専務 理事	小野田 敏行
姫路市民共済生活協同組合	理 事 長	藤田 雄三

協同組合のかけ橋

JF 兵庫県漁業協同組合連合会

県下初の「マリンエコラベル」認証 ～摂津船びき網漁業協議会が取得～

「マリンエコラベル」は、水産資源の持続的利用や生態系の保全を図るための資源管理活動を積極的に行っている漁業者を支援し、消費者をはじめとする関係者の水産資源の持続的利用や海洋生態系保全活動への積極的参加を促進することを目的とした制度です。この制度を運用する「マリン・エコラベル・ジャパン」（略称：MELジャパン、以下MELジャパン）に対し、摂津船びき網漁業協議会はイカナゴ・イワシを対象とした生産段階認証を申請し、審査の結果、このたび認証が決定し、去る5月27日（金）、JF神戸市会議室において「マリン・エコラベル・ジャパン 認証証書授与式」が行われました。

この式には同協議会から井上 隆会長をはじめ役員の方々が出席。MELジャパンから日本水産資源保護協会 下村政雄 専務、MELジャパン現地調査員 秋武 宏 氏（前JF兵庫信漁連会長）をはじめ、来賓として県、神戸市も出席し、約30名が見守るなか行われました。

式では、下村専務からこれまでの全国の取得状況とその取り組みが紹介された後、今回の認証内容が披露されました。続いて、下村専務より認証証書が井上会長へ手渡され、井上会長は「これからも資源管理を行い、水産物の安定供給に寄与したい」と述べられました。

また、来賓として出席されたJF神戸市 山田 隆 義 組合長は「全国で7番目の受賞、おめでとうございます。漁業を取り巻く環境が厳しい中、資源管理型漁業の先駆けとなり、県下のみならず全国の漁業者の見本となって頂きたい」と挨拶されました。

なお、今回認証されたエコラベル活用期間は5年間で、5年後には再度審査が行われるものです。



認証証書を手記念撮影
（左から秋武調査員、下村専務、井上会長、山田組合長）



認証証書授与の様子
～兵庫県初の認証証書を手記～

JA 兵庫県農業協同組合中央会

JA兵庫みらいが 県内初の女性大学を開校



プランターに種をまく受講生

JA兵庫みらいは5月18日、今年度より新たに開校する女性大学の入学式を同JA本店で行いました。管内の女性60人が入学しました。文化や福祉などの生活に関わるさまざまな分野について楽しく学んでいきます。

女性大学は同JAや同JA女性会が、「学びの場」や「人づくりの場」として、地域に根ざした活動を広めていくため、県内JAで初めて開校しました。ひまわり（フレッシュコース）とすみれ（エンジョイコース）の2コースあり、いずれも「食と農」や「健康と美容」などをテーマに、年間計10回のカリキュラムを組みます。

入学式では、同大学の学長を務める後藤健次郎 代表理事組合長が「いろいろなスキルを磨き、受講生同士交流を深めながら多くの仲間をつくってほしい」と呼び掛けました。

閉会後には、第1回目のプランター栽培講座を開き、JA職員が作業工程やポイントを説明した後、受講生らはプランターに土を入れ、ミニチンゲンサイ「シャオパオ」の種をまきました。受講生は「プランター栽培は初めてだったけど、思っていたよりも手軽にできました。これからいろんな講座もあるので楽しみ」と笑顔で話していました。



最近の消費生活相談事例

クーリング・オフを 逃れようとする事業者にご注意！ 住宅関連工事をめぐるトラブル

事例

2週間前に訪問販売で下水道工事と外壁塗装を勧められて契約。工事も完了したが、不審な点があり、金額や内容にも納得がいかない。解約したいと思うが、事業者には「工事は完了しているのでクーリング・オフは出来ない」と言われた。クーリング・オフについて記載された契約書面などは受け取っていない。

【アドバイス】

クーリング・オフとは、トラブルの起きやすい一定の販売形態において、消費者に冷静に考え直す期間を与えるもので、訪問販売の場合は契約書面を受領してから8日以内であれば、消費者は無条件で契約を解除することが出来ます。

訪問販売事業者は、契約が成立した場合には、消費者に対し、特定商取引に関する法律に基づく書面を交付しなければなりません。

この書面には、契約の内容や販売店名などを記載しなければならないことは勿論、クーリング・オフができる場合には必ずその旨を記載しておかなければなりません。

事例のように書面を渡していない場合や、渡していても重要な事項やクーリング・オフが出来る旨を記載していない場合などは、契約日から8日間を経過していてもクーリング・オフが可能です。

事例のケースでは、工事が完了していてもクーリング・オフが可能であり、相談者には事業者あてに書面でクーリング・オフを通知するよう助言しました。

近頃、クーリング・オフが可能な契約であっても、事業者がクーリング・オフに応じなかったり、妨害しようとするトラブルが起きています。

長引く不景気を背景に、これまで訪問販売などを行っていなかった事業者が不勉強のまま訪問販売を始めた場合や、資金繰りの悪化に伴い、なんとかクーリング・オフを回避したい、といった事業者側の事情があるようですが、許されることではありません。しかしながら、いったん代金を支払ってしまうと資金繰りの厳しい事業者からお金を取り戻すのは大変な労力を要します。

トラブルを避けるためには、その場で契約せずに、本当に必要な工事かどうかを冷静に判断し、数社から見積もりを取るなど、慎重な対応を心がけましょう。

また、クーリング・オフの通知は書面で行う必要があります。ハガキの両面のコピーをとり、簡易書留など記録の残る形で郵送するように注意しましょう。

(東播磨消費生活センター)

MOVE

●平和のつどい・ピースアクションの取組み

是非、お近くの取組みにご参加下さい。

日・時間	内容	参加費	会場	問い合わせ先
7月9日(土) 10:00-12:30	講演会:「もう一度考えよう、平和について〜ルワンダ〜福島〜神戸〜」 講師:カンベンガ・マリールイズさん	無料 (事前申込みが必要)	コープこうべ生活文化センター (神戸市東灘区)	コープこうべ第3地区本部 TEL:078-412-3771
7月17日(日) 13:00-	地球のステージ 〜神戸から、みんなの力を笑顔にかえて〜 出演:桑山紀彦さん	大人: 前売・600円、当日・800円 子ども(小中): 前売・300円、当日・400円	神戸市北神区民センター (神戸市北区)	コープこうべ第4地区本部 TEL:078-583-8411
7月24日(日) 10:00-12:00	講演会:「子どもたちの絵が語るもの『アウシュビッツに消えた幼い命』」 講師:野村路子さん 〔テレジンを語りつくす会・代表〕	無料	コープカルチャー宝塚	コープこうべ第1地区本部 TEL:0797-83-1018
7月29日(金) 13:00-15:30	コンサート: 「復興と平和への祈り」コンサート 出演:新垣勉さん〔テノール歌手〕	大人:500円 子ども(小中高):200円	垂水勤労市民センター レバンテホール (神戸市垂水区)	コープこうべ第5地区本部 TEL:078-937-0082
8月8日(月) 10:00-12:15	映画会:「この子を残して」	無料	西宮プレラホール	コープこうべ第1地区本部 TEL:0797-83-1018
8月22日(月) 14:00-16:00	講演会:「『小さな命からの伝言』21世紀へのメッセージ」 講師:アグネス・チャンさん 〔日本ユニセフ協会大使〕	大人(高校生以上): 500円 中学生以下:無料	西宮プレラホール	コープこうべ第2地区本部 TEL:0798-67-6780
8月31日(水) 14:00-16:00	地球のステージ 「手と手をつなぎ伝えよう命の絆〜ピースハンドピース〜」 出演:桑山紀彦さん	大人: 前売・600円、当日・800円 子ども(小中): 前売・300円、当日・400円	姫路キャスパホール	コープこうべ第6地区本部 TEL:079-285-3941
8月7日(日) 10:00-12:00	誰のせいやねんあの戦争 〜次世代に語り継ごう戦争体験〜Ⅲ	無料	阪神医療生協 小中島支部・集会室 (尼崎市小中島)	阪神医療生協 TEL:06-6481-5504

兵協連 第2回「労働安全衛生研修・学習会」のご案内

生協事業・経営という視点から見た職場の労働安全衛生についての研修会を開催します。

働きやすく、安全な職場環境のあり方について、実例をあげながら解説いただきます。役職員の皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

「労働安全衛生研修・学習会」

日時:7月19日(火)14時~16時30分
会場:兵庫県民会館9階・901号室
対象:会員生協・団体の役職員
講師:茶園幸子氏(社会保険労務士)

お問い合わせ・お申し込み 兵庫県生協連 TEL:078-391-8634

編集後記

数年前の七夕の日に、本物の竹を使った笹飾りをもらいました。部屋の窓際に飾って、翌日帰宅すると、食卓の上に5ミリ位の緑色の毛虫が、「あれ?」とテッシュで捕獲。また翌日帰宅すると、今度は、食卓の上に緑の毛虫が3匹。「え?」と目線をゆっくり上に上げると、「ぎゃー!!」クロスの天井から、糸をひいてぶら下がる、ゆらめく毛虫たち。およそ30匹。その後は、部屋の中で雨傘をさしながら、フロアリングモップでゆらめく毛虫と対決するハメに。どうも、丸められた笹の葉の中で孵化した毛虫が、壁をつたって天井に登っていたようです。笹の葉に毛虫。ありえない!それ以来、北山家に笹飾りの持ち込みは厳禁となりました。今でもたまに夢にみる。恐ろしい体験でした。(涙) (北山)

- 7月1日(金) 第89回国際協同組合デー兵庫県記念大会
(神戸市立東灘区民センターうはらホール)
- 7月5日(火) 兵協連第2回大学生協部会
(県民会館ばら)
- 7月7日(木) 2011年度第1回近畿地区生協府県連協議会
(和歌山県)
- 7月12日(火) 兵協連第1回医療生協部会
(県民会館ばら)
- 7月14日(木) 日生協第1回全国県連責任者会議
(東京)
- 7月19日(火) 兵協連第2回労働安全衛生研修
(県民会館901)
- 7月20日(水) 兵協連第2回生協活動委員会
(県民会館ばら)
- 7月22日(金) 兵協連第1回共済生協部会
(県民会館ばら)
- 7月25日(月) 兵協連監事会
(県民会館ばら)
- 7月28日(木) 関西地連第1回運営委員会
(新大阪・江坂東急イン)

県連日誌